

令和8年度 国土交通省・公共事業関係予算のポイント（概要）

1. 防災・減災、国土強靭化の推進

- ICT技術等による生産性向上・効率化等も勘案しつつ、労務費・資材価格上昇等の影響を踏まえて、公共事業関係費は**6兆1,078億円**（対前年度+220億円）。この予算も活用し、以下の取組等により、防災・減災、国土強靭化を推進。

- ▶ **埼玉県八潮市の道路陥没事故の教訓を踏まえた老朽化対策の推進**
(緊急輸送道路下などの重要管路の更新や、災害・事故後に迅速に機能確保することが容易でない重要管路の複線化等を重点支援するため、個別補助事業を創設)
- ▶ **ハード・ソフトの一体的取組**
(線状降水帯・台風等の予測精度向上等に資する研究開発 等)



次期静止気象衛星の整備



気象庁スーパーコンピュータ
システムの機能強化

2. 成長力強化、外国人関連施策等

- 港湾・造船などの海上輸送基盤や空港機能の強化などを推進。
- 国際観光旅客税を引き上げ、オーバーツーリズム対策や日本人の安全安心な海外旅行環境の整備などを強化。（**1,300億円**（対前年度+810億円））



RORO船が着岸する
岸壁等の整備



観光客向け
特急バスの運行



観光地周辺の
駐車場の整備

3. 国民の安全・安心の確保

- 「海上保安能力強化に関する方針」を踏まえ、海上保安庁予算・定員を拡充し、その中で、
（2,971億円（対前年度+180億円））
- ▶ **無操縦者航空機（5機）、中型ジェット機（1機）の増強整備**
- ▶ **勤務環境改善に資する宿舎整備**



無操縦者航空機



中型ジェット機



職場環境改善に資する宿舎整備